



## 『私の切なる願いと計画が断られた時』

説教者:鄭南哲牧師

聖書:歴代誌第一 17章3-4節・16-27節/暗唱聖句:ローマ人への手紙8章32節 (Rev.Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！ 一週間も主の平安で守られました。

イエスキリストを信じ、受け入れたクリスチャンたちには創造主の父なる神様に祈れる特権が与えられています。みなさんは先週一週間も神様から与えられている祈る特権をよく用いていましたか。みなさんは神様に切なる願いと望みを持って神様に求め祈った時、それが答えられ、かなえられた時はいつでしたか。きっと、その時はどれほど感激しながら喜んだでしょうか。その瞬間、その時の驚きと感謝は、今もみなさんの記憶と心中で生々しく残されているかも知れません。

我らは、自分の人生の歩の中で多かれ少なかれ、一度は自分の切なる願いがかなえられて感激し、喜んだ時があったと思います。ある方は結婚したかった相手を親の反対中やっと承諾を得て結婚式をあげた日は一生、忘れられないという方もいれば、ある人はずっと自分の行きたかった大学に合格され時だという方もいるかも知れません。願い求めていたところに就職出来たり、頑張って準備して働いた結果、計画した通り成果が出され、現れた時にはどれほど喜んでいただいでしょうか。芸術をする方々は初めての展示会とか音楽会を開き、無事終えた時は忘れられないとも聞いております。みなさんは今まで心の願いと計画通りにかなえられた時、嬉しくて嬉しくて、その時に、人生の幸福を感じたと言える方々もいるかも知れません。生きておられる父なる神様は、我々が切に祈り求める時、我々の祈りを聞き入れ、答えて下さることを喜ばれるお方であるのに、間違いありません。

**「私は主を愛している。主は私の声、私の願いを聞いてくださる。2主が私に耳を傾けてくださるので、私は生きているかぎり主を呼び求める。(詩篇116篇1-2節)」**・**「あなたがたは、悪い者であっても、自分の子どもたちには良いものを与えることを知っているのです。それならなおのこと、天におられるあなたがたの父は、ご自分に求める者たちに、良いものを下さらないことがあるでしょうか。(マタイの福音書7章11節)」**

ところが、人生の中を歩いて来ながら、逆の時もあったかではみなさんにありませんか。自分たちの夢や願い事が、期待していた計画が結局叶えられず、失望したり、絶望に陥ってしまった時いつだったのでしょうか。

人生を振り返って見れば、生きておられる父なる神様は、私たちの生涯の中、祈り求めた時に、我らの願いを聞き入れて下さった時もあれば、私たちの願いを聞き入れてくださらなかった時、叶えられなかったことも経験して来られたでしょう。

キリストを信じる方々の中、ある人は神様からの答えて言うものはいつも当然“OK!YES!”のみ考え込んでいる傾向があるため、神様が自分の祈りや願いにYES!だと答えられない場合、落ち着かず、あせったり、落胆したり、時には神様を強く恨んだりもする場合もあったかも知れません。

いくら、みなさんのお子さんを愛し、可愛くても、何でも欲しがること無条件的にいいよ！とする親はいないし、むしろ、そうしてはいけないと同じように、聖書を通して、神様を正しく知れば、神様がいつも我らの願いと望み通り、レポート見たいに“YES!マン”のようなお方ではないことが当然なことでも頭では知っていながらも、いつの間にか、神様が我らの願いに、特に心から切に願い求めたことに対して断られ、答えられない時は、やる気をなくし、無気力になってしまったり、神様がっかりして、しばらく神を恨みながら、神様から離れたりしたことは全然なかったでしょうか。

しかし、聖書で見ると、祈る者たちは、神の答えに対して、神様の御心のうちに、すぐOK!YES!だと答えて下さる時もあれば、“NOT Yet(まだ)”で今ではなく、もっと神様の一番良いタイミングの時まで待ち続けるようにされる時あり、時には断然に“NO!”と、いくら切に願い求めても、御心にならず、断る答えをして下さる時もあることを忘れないようにしましょう。

まず、**我らが祈る時の正しい姿勢と心構えは、いつも我らの願い通りYES!して下さる時だけが神の答えではなく、もっと待てるようにされる時や、神様が断れたことも、すべて我らの為の神の祈りの答えとして受け止める姿勢を堅持して頂きたいと願っております。**今日は特に神様に夢と期待を持って切に求めたのにもかかわらず、神様からはっきりとNO!だと断れる時に、どうすれば、さらなる神の祝福と恵みの人生となったのか、その秘訣の原則を、信仰の人物であり、イスラエルの王であったダビデの模範をとして共に学びたいと願っております。

## < 本 論 >

今日の聖書の本文によりますと、ダビデ王は、自分は、王になって高級杉材で建てられ、派手やかな宮殿に暮らしているのに、神にいけにえを捧げ、礼拝を捧げる主の契約の箱がおいてあるところは天幕の下においてあったのが、とても神に申し訳なかったのです。**第一歴代誌17章1節**に、「ダビデが自分の家に住んでいたときのことである。ダビデは預言者ナタンに言った。「**見なさい。この私が杉材(すぎざい)の家に住んでいるのに、主の契約の箱は天幕の下にある。**」

ダビデ王は、今までの神の恵みと祝福に少しでも恩返ししたくて、全てを尽くして、神様のために神様が臨在し、神様に礼拝をささげるための立派な聖殿を建てたいという素晴らしい良い計画と願いを持っていただけであります。

それに、当時神の預言者であるナタン預言者も、喜んでダビデがいただいていた願いがよしとされました。**第一歴代誌17章2節**に、「すると、ナタンはダビデに言った。「**あなたの心に あることをみな行ないなさい。神があなたとともにおられるのですから。**」

ところが、その夜神様は、ナタン預言者を通して、その良いことを望んでいたダビデにむかって、駄目だと言われ、そして結局ダビデを通してその願いはかなえられませでした。本文3—4節をご覧ください。「4「**行って、わたしのしもべダビデに言え。『主はこう言われる。あなたがわたしのために、住む家を建てるのではない。』**」

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

今日の本文を通して教えられるところは、私たちが神様に良い意図と動機をもって、切に祈り求めても、神様から断然に NO! だといわれる時があることが分かります。人がなぜ、どうして、神様がそう断っておられるのか、全ての御旨を計り知れませんが、しかし、神に切に求めても、断られた時さえも、我らがどんな信仰の姿勢を取るかによって、さらなる神の素晴らしい祝福が与えられる時となれることを今日まず、覚えておきましょう。これはまるで、ヨーロッパに行ってスタンドガラスで作られた教会や建物をみると、外側ではまるで修道院のように古くて、かたくるしく見えるけど、ところがいったん中に入ってみると言葉では表せないほど、光に反射された中は、色のガラスを通して、とても美しく、派手やかに輝いている雰囲気になると同じです。このように神様も、私たちが切に願い、求めていた望みがあっても、神様が駄目よ！と断って下さる、その裏面には多くの祝福を隠されておいているのです。

みなさん！神様は誰よりも私たちをよくご存知で、愛しておられるため、時には私たちの願いにおいては断然に断って下さることが事実、私たちにむしろ祝福となり、さらなる神の祝福に繋がるきっかけになる経験もされた方々もきっと多くいらっしゃるでしょう。

例) 自分の話をさせていただいて申し訳ありませんが、私夫婦は今年で結婚して 22 年目で、子どもが5人おり、今までも幸いな結婚生活、家庭生活を過ごさせて頂いております。正直に今も妻と結婚した時を忘れません。当時CCCの宣教師として日本にいた妻を約3年間遠距離の恋愛の中、切ないの思いを持って韓国で待った末、ついに結婚にゴールインしたわけですので、結婚式の時にはその夢がかなえられ、とても感激で、その時を一生涯、忘れないと思います。なので今も妻を私に与えてくださったことを一番の感謝の課題として思っておりますが、ところが結婚する前、私には大学時代から、いやもっとおさないころから一緒に教会にかよいながら付き合っていた初恋の姉妹がいました。このまま結婚に導かれたいと切に願い、日々祈っており、私の方が大好きでした。しかし結局、韓国にある軍隊義務約を果たしていた約3年間、私が軍隊に行っている間、その姉妹とは別れてしまいました。しかも私のよく知っている教会の先輩と付き合い始めたと聞いた時はたしかに、当時は、どれだけショックで、死にたいほど、絶望的で、神様に恨みながら訴え続けたのかわかりません。しかしある日、教会で祈っている間、神様から与えられた答えを私はいまも生々しく覚えています。神様は“私がそうさせたのだ！私が駄目にさせたのだ”と。その時はどうしてもまったく神様の御心が理解できず、神様に一生懸命に抗議しました。しかし、後になってようやく、分かったのです。それは、だれかのあやまちではなく、もうすでに神様が私に一番ふさわしく整えてくださった今の妻との出会いと出合わせるため、今の妻を通してくださろうとする大きい祝福の時のために、神様はその時、私の切なる願いに断り NO! とされたことがわかりました。

今考えて見ると、**神様は私が願っていた方向に人生を導いてくださったのではなく、私のために、神様の望んでおられる道に私を導いてくださいました！私の必要に応じて満たしてくださったのではなく、私を祝福するため、神様の必要に応じて私の人生を導いてくださったのです。**

愛する信仰の家族のみなさん！かりに、もしも、私の必死に願った意図の通り、人生を生きて来たならば、その人生はどうなったのでしょうか。人は、自分の願い通りかなえられることが人生の幸せだと思ひ込んでいますが、実は、その通りにこの世がなくなってしまったら、どうなるでしょうか。ある方がこう話した事を聞いた事があります。“地獄とはどんなところなのか。人々が願うとおりになるところだ。天国とはどんなところでしょうか。神様の御心のとおりにすべてがなされているところそこが天国ではないか。”

ですから、私たちの人生は自分たちの手にあるのではなく、まことに神様の御手の中に私たちの人生がおいてある事を告白せざるおえません。これを悟る事こそ真の知恵であり、神に心から頼り、委ね続けることが出来ると信じます！

#### < 自身の願いと計画に対し、神様から NO と断られた時の正しい態度 >

それでは、本文に戻って、神様から NO と断られた時に、ダビデはどんな姿勢をとりましたか。これはとっても大切です。この信仰の知恵を私たちもぜひ学んでほしいです。

##### ①今まで神様が自分の人生に成されたことを覚え、全ての恵みに感謝を表し続けます。

ダビデ王は、神様が聞いてくださらなかったことに執着せず、心に向かせないで、ここまで神様が自分の人生の中導き、助け、与えて下さった神の恵みに感謝を表しつつ、神を信頼し続けていました。

普段私たちはどうですか。祈ってもまだ下さらないこと、まだ与えられてない事に対してずっと心に留めておきます。そして今、与えられてないことを大きく捕えてしまい、今まですでに与えられている事に対して神の恵みと感謝も忘れてしまい、失ってしまう時があります。

しかし、ダビデは神様から断られた時に、神様を恨んだり、落ち込んでたりしていません。却ってこのように言います。今日の本文17章16節～18節で、「ダビデ王は主の前に出て、座して言った。「神、主よ、私は何者でしょうか。私の家はいったい何なのでしょう。あなたが私をここまで導いてくださったとは。17神よ。このことがあなたの御目には小さなことでしたのに、あなたはこのしもべの家について、はるか先のことまで教えてくださいました。神、主よ、あなたは私をすぐれた者として見てくださいます。18あなたのしもべに与えられた誉れについて、ダビデはこの上、何を加えて、あなたに申し上げることができるでしょうか。あなたはこのしもべをよくご存じです。」

ダビデは、「神様。私は自分をよく知っています。自分の未熟さをよく知っています。私には良い背景もありませんでしたが、そんな私を神様は分にあまるほどの祝福で、わたくしをここまで導いてくださった事を感謝します。」と告白する内容です。

愛する信仰の家族のみなさん！ダビデがこの告白をした時は、すでに人としてはすべてを成し遂げた時でした。イスラエルを統一させ、百戦百勝(ひやくせんひやくしょう)の勇将(ゆうしょう)だったし、周りの王たちがダビデを恐れるほど、権力と力と富を手に入れていた時でした。彼はたくさんのお金を手に入れ、だれもが見ても、うらやましがらるほど偉大な王の立場になっていましたが、神様の御前で彼はいつも過去の自分を忘れないで、知恵もなく、貧しくて、力もなく、幼かったころの自分を、つねに思い出し、しかし、神様はそんな自分を大切にされ、尊いものとして扱ってくださった神の恵みに感謝の告白をささげています。そして自分だけではなく、イスラエルの民に対しても、神様から施された恵みを思い出します。その内容が今日の本文21-22節の御言葉です。

愛する信仰の家族のみなさん！神様に祈り求めた事に対して、YES と答えてくださった時もそうですが、逆に NO!だと断られた時こそ、ダビデのように、今まで、ここまで私を助け導き、与えて下さった神様を覚え、感謝し続け、信頼し続けようではありませんか。

自分の切なる願いと望みに対して神様が叶えて下さらない時！“神様は私を愛しておられると言いながら、どうして！何で！私にこうされるのですか。”と訴えるより、疑うより、失望しないで、却ってダビデのように、ここまで、今まで神が自分の人生になされた導きを、与えて下さった恵みを！一度、深く振り返って見てください。すると、今答えられてない、与えられてない、叶えられてないことより、今までの与えられた神様の恵みにいくらでも感謝を捧げることができると信じます！

普通、みなさんの子供を愛する親が子共に断然に、はっきりと NO!だと断れる時には、その子供が今断られたことすべてがまだ理解できなくても、かならず理由があって、それがその子どもの為に、全然有益だから、将来のためではないでしょう

か。今の断りが、その子どもにこれから、もっと有益で祝福になるからそうさせているように、天の父なる神様もその神様の愛され、信じている子供である我々に対しても同じであることを忘れないで下さい。

## **②これから神様が代わりに与えようとする事を期待し、約束の御言葉をしっかり握り続けます。**

**神様から NO!と言われた時に、ダビデは、これから神様が与えようとする事を期待し、神の約束の御言葉を心に留め、しっかり握っていました。**

今日の本文25～26節を読んで見ましょう。「25わが神よ。あなたはこのしもべの耳を聞き、しもべのために一つの家を建てると告げられました。それゆえ、このしもべは御前で祈る勇気を得たのです。26今、主よ、あなたこそ神です。あなたはこのしもべに、この良いことを約束してくださいました。27今、あなたは、あなたのしもべの家を祝福することを良しとされ、御前にとこしえに続くようにしてくださいました。主よ。あなたが祝福してくださいました。あなたのしもべの家はとこしえに祝福されています。」

ダビデは神様から断れている時こそ、神様の約束をつかみます。そしてその約束をもとにして神様に求めます。

**与えてくださらなかった事から、神の約束の御言葉に心に留め、その御言葉を握りしめつつ、新たな期待を保っています。**

今我らにも、我らのために、神様の約束された御言葉が与えられていますが、その神の約束の御言葉をダビデのように、心に留め、約束の御言葉をしっかり握って、用いるかどうかは我らの手に渡されています。

ダビデのように、我らも、我らに向かう神の約束の御言葉を用いて、握る時こそ、我らに向かう神の御心と悟り、さらなる期待と信仰を保つことができるでしょう。

例え、**さびしい時、神様はあなたとともにおられる**と御言葉に約束されています。

「あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。6強くあれ。雄々しくあれ。(ヨシヤ1章5-6節)」この神の約束をにぎって下さい。

**心に不安と思ひ煩い時**、主は我らに、「何も思ひ煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。7そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあつて守ってくれます。(ピリピ人への手紙 4:6-7)」という神の約束を覚えて下さい。

**無気力を感じ、自信がない時**、イエス様は「イエスは言われた。「できるなら、と言うのですか。信じる者には、どんなことでもできるのです(マルコの福音書 9:23)」、「私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。(ピリピ人への手紙 4:13)」と告白されています。

**経済的に困っている時**、「また、私の神は、キリスト・イエスのうちにあるご自分の豊かさにしたがって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます。(ピリピ人への手紙4:19)」と約束されました。**信仰が揺らぎ、弱くなっている時には**、「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。(ヨハネの福音書14:1)」、「信じます。不信仰な私をお助けください。(マルコの福音書9:24)」

**金銭への欲望や様々な誘惑で不安な時**、「金持ちになりたがる人たちは、誘惑と罠と、また人を滅びと破滅に沈める、愚かで有害な多くの欲望に陥ります。10金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫(つらぬ)きました。(第一テモテ6:9-10)」という御言葉を覚える必要があるでしょう。

**苦難と試練に耐えなく苦しむ時**、「愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間で燃えさかる火の試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思つてはいけません。13むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜(かんき)にあふれて喜ぶためです。(第一ペテロ 4:12-13)」

**罪責感に捕らわれ不安な時**、「こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。2なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法が、罪と死の律法からあなたを解放したからです。(ローマ 8:1-2)」

**恐れる時**、「神が私たちに、臆病(おくびょう)の霊ではなく、力と愛と慎みとの霊を与えてくださいました。(第二テモテ 1:7)」

病によって苦しむ時、「彼が私たちのわずらいを担い、私たちの病を負った。(マタイ8:17)」、「イエスは彼が横になっているのを見て、すでに長い間そうしていることを知ると、彼に言われた。「良くなりたいか。」(ヨハネ5:6)」、「主はみことばを送って彼らをいやし、滅びの穴から彼らを助け出された。(詩篇107:20)」

そして、**死の恐怖の前**でも「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。17神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。(ヨハネ3:16-17)」

「イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。26また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。あなたは、このことを信じますか。」(ヨハネ11:25-26)」

我々は自分が求めたことが、早くもかなえられず、断られた時に不安になり、あせてしまったり、がっかりしてしまうのでしょうか。今、それが与えられないと、先が不安だからです。だから、今！この時こそ、神様の保障と約束が必要ではありませんか。神様は我らのために、このようなすばらしい約束を聖書の御言葉を通して、私たちにすでに与えてくださったのだから、与えられてない事に対しては未練を持たなで下さい。今年一年の間、神様はどうして自分の求めた事を聞き入れてくださらなかったのかに、続けて執着しないで、すでに神様が我らに約束としてくださっていることは何なのか御言葉に立ち返り、みなさんに向かう神様の約束をちゃんと心に留め、つかみましよう。神の御言葉こそ、必ず、我らの人生を導き、正しい方向に導いてくださいます！！

### ③神様のために、自分が 出来る新たなの使命と役割 を見出し、全てを尽し続けます。

ダビデの切なる願いと望みは神様から NO!とされましたが、ダビデは、神様のために、いつか神様のその御業が成し遂げられるように、自分が出来る新たな使命と役割を見出し、すべてを尽くして、その準備に着手(ちゃくしゅ)することで彼の人生をすごしました。 愛するみなさん！人はなかなか自分がその企画や関わっていることからぬけていると、無関心になるか、自分とはあまり関係ないと手放そうとするでしょう。これはこの世の普通の人々の心です。あることに自分の名前が挙げられれば、自分がその働きに関わっていれば、その企画に属されていれば、熱心に働こうとします。しかし、神様を愛していたダビデはそうしませんでした！ 神様の住まわれる聖殿を建築するすばらしい奉仕からダビデ自身は断られ、外され、抜けていきましたが、自分じゃなくても、後だれかによって、神様のために、聖殿建築が出来るように、具体的に自分ができるところに最善をつくして準備しました。神様が喜ばれることのために、自分が建てるのが断られても、新たな自分が出来る使命と役割を見出し、すべてを尽くして、協力し続けておきました。

その内容が、**第一歴代誌22章**に詳しくその内容が記されています。**第一歴代誌22章14節**です。「**見なさい。私は困難な中で主の宮のために、金十万タラント、銀百万タラントを用意した。また、青銅と鉄はあまりに多くて量りきれない。それに、木材と石材も用意した。あなたが、これらにもっと加えなさい。**」

ダビデ自身は聖殿を建てるのに直接参加できませんでしたが、そしてダビデは別にやらなくても大丈夫な仕事でしたが、自分のすべてを尽くし献身し、犠牲を捧げるほど神様の宮を建てあげるように最上(さいじょう)の材料を自分の時代に準備しておきました！そして後継者にもこの準備が続けられるように準備させます。 徹底した準備をしました。ダビデは、自分のためではなく、神様のためのことだったからそうしました！ダビデ自身の名前は表に出されず、そして実際神様に断られたことですが、これは神様が喜ばれることで、必要で、尊い作業を見出し、心と思いを尽くして備えていたダビデの姿をさきほど読んだ聖書箇所をとおして私たちは知ることができます。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！ダビデは自分にやる気や喜びがなければとか、自分の名前がかかわってないからとか、表されるべきであるなら、それは主のための働きではなく、自分の働きにすぎないことになってしまうのを私たちはダビデをとおして学ばされます。神様はNOだと言われるのにもかかわらず、ダビデが自分の名前とは関係なく、神様のために、喜んで仕え続け、自分のすべてをささげ、神様の御心だけが成し遂げられるようにと最善をつくす人生でした。 自分の願いが断れてもより多くの神様の約束を握っていたダビデの一生は神様の御心を成し遂げる一生涯でした。

## **<人々の前では2人者(ににんしゃ)のように見えたが、神様の前では真の信仰の英雄たちがいます！>**

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん!今週で、6月が始まります。神様が喜ばれる御心は何であるかをぜひ見つけてください。**神様の前では大きい働き、小さい働きがないことを覚えてください。ただ、あるなら神様の前でやるべきこととやってはいけないことだけがあります。**聖書をじっくり読んでみるとおよそ3000人の人物が記録されています。正確に言うと、2930人です。この中でみなさんが覚えている信仰の偉大な人物たちは何人ぐらいでしょうか。彼らを通して神様がなされた偉大なみわざをどのぐらい覚えているのでしょうか。わずかだけだと思います。事実その少数の英雄たちが神様の偉大な働きを果たせた背後には、それこそただ神様の御心に従って、神様に喜ばれるために、名前もなく仕えていたたくさんの方々の信仰の人たちがいた事実を私たちは忘れてはいけません。

アブラハムの後ろで充実に仕えていたしもべエリエゼル(創世記 24:1-14)、モーセが祈るとき手をあげて助けてくれたフル(出 17:8-16)、ヨシヤを支持してくれたカレブ(ヨシヤ 14:1-15)、ダビデの命を救ってくれたヨナタン(第一サムエル 18:1-5)、預言者エリサを仕えていたシュネムの女(第二列王記 4:8-17)、パウロのために献身したエパフロデト(ピリピ人への手紙 2:25-30)など実は聖書に隠されている宝石のように輝いている信仰の英雄たちがどれだけたくさんいるかわかりません。

私はある面、歴史の舞台の後ろに立っていた彼らこそ信仰の真の英雄たちだと思います。世の人々からの注目や人気よりもくもくと神様の約束の御言葉を握って神様だけに認められたら、それで十分だという者たちでした。私は彼らも天国で信仰のヒーローたちと同じ冠をかぶせられ神様に賞賛を受けたと信じます。このように第二人者のような人生だったのにもかかわらず、ひたすら神様のためにひたすら献身し、仕え続けた彼らを見ながら、私は大きく励まされます。そして今まで私がやっている奉仕や働きを人々がわかってくれなくても、神様はすべてをご存知で尊く認めてくださると思うとどれだけ慰めと感謝の課題になるのかわかりません。

今年ここまで、自分とは直接関係ないがないのにもかかわらず、神様に喜ばれることなので、今まで仕えてきている方々に神様からの大いなる慰めと恵みがあふれますように祝福しお祈り致します。私は我らのクリスチャンプレイズチャーチの中そのような方々がたくさんいることに本当に感謝しています。そしてつづけてこのような信仰の人々が益々増えていきますようにように祈ります。隠されているが神様の御心が全うされるように、神様に喜ばれることのために、自分のことではないけれど喜んで仕える信仰の二人者のような方々がもっと増えてほしいです。

## **<まとめ>**

愛するみなさん!ダビデは生きていた間、自分の生涯を振りかえてみながら神様に喜ばれることを見出し、その使命に献身し、神様に対する最善の愛をささげました。それだけではなく、今まで与えられ、導かれて来ている神の祝福を覚えながら感謝をささげました。そして神様から断れている時こそ、神の豊かな約束の御言葉をかたく握り、神様が成し遂げてくださる事を信仰の目で見ることができました。そのため、自分とは直接関係はありませんでしたが、神様の御わざのため人生の残りを燃やして行くことができました。これがまさに「エッサイの子ダビデは私の心に適う者だ」と神様から認められた理由だったの信じます。神様は私たちにYES!とも答え、祝福して下さいますが、NO!だと言われた事にはさらなる祝福を与えてくださるためである真実を忘れないで下さい。今日も明日も永遠にかかわらず我々に向う神様の豊かな約束の御言葉を心に留め、つかみ、相変わらず、神様のため、新たな自分の使命と役割を尽くしていくクリスチャンプレイズチャーチの全信仰のみなさんとなりますように主イエスキリストの御名によって祝福します。

**「私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。(ローマ 8:32)」アーメン!**

# ＜ニューヨーク大学付属病院リハビリセンター入口に掛けられている祈り文＞

(Center for Physical Medicine and Rehabilitation)

大きい業を成す為に力をくださるように主に祈ったら

謙遜を学ぶために弱さを与えてくださいました

I asked God for strength, that I might achieve  
I was made weak, that I might learn humbly to obey.

たくさんの仕事をやり尽くすように健康を求めたら

主はより価値ある人生となるように病気を与えてくださいました

I asked for gealth, that I might do greater things  
I was given infirmitym that I might do better things.

幸福な人生のために富を求めたら

主は賢くなるように貧しさを与えてくださいました

I asked for riches, that I moght be happy  
I was given poverty, that I might be wise.

世の人々からほめられるように能力を求めたら

神の助けを忘れないように弱さを与えてくださいました

I asked for power, that I might have the praise of men  
I was given weakness, that I might feel the need of God.

人生を楽しめるようにすべてを手に入れるように求めたら

全ての事を味わえる人生そのものをプレゼントして下さいました

I asked for all things, that I might enjoy life.  
I was given life, that I might enjoy all things.

求めたものの中何一つかなえられなかったようでしたが

神様は私の全ての願いを聞いてくださいました

I got nothing that I asked for – but everything I had hoped for.

主の御心に従えなかった人生でしたが

主は私の心のそこからの願いすべてを答えて下さったのです

Almost despite myself, my unspken prayers were answered.